



次の場面を探してみよう!

次の場面は、ア~カのどれに当たるか、()に記号を入れてみよう。

- ① 碁盤の目のように道が通っています。 ()
- ② 大きな屋敷で、貴族たちが春の行事を行っています。 ()
- ③ 僧侶が、通りで人々に仏の教えを説いています。 ()
- ④ お供の人を伴った車が牛に引かれています。 ()
- ⑤ 家の棚で食材や日用品が並んで売られています。 ()
- ⑥ 農民が、貴族の屋敷に品物を納めています。 ()

ヒント ①→p.56 ②→p.57 ③→p.59 ④→p.57 ⑤→p.56 ⑥→p.54

A

B

C





私たちは平安時代といわれる時代に来ています。
 ここは、京都の大きな都です。通りで区切られた区画には都に住む人々の家が並び、大きな屋敷には貴族たちが集まっているようです。

見方・考え方

奈良時代から平安時代に移り変わって、どのような点が変化しているのでしょうか。また、なぜそのように変化したのでしょうか。例えば以下の点などに注目し、周りの人と話し合ってみましょう。

- ・場面①のような街の道路や建物の様子
- ・場面②のような、手前の屋敷にいる人々

対話

庭に出ている男性と、部屋のなかにいる女性は、それぞれどのような身なりで、何をしているのかな。



D

E

F





4節の問い 中国の影響を受けた日本の政治と文化は、どのように変化していったのだろうか。

藤原道長がよんだ歌

この世をば この世は私のための世界のよう
わが世とぞ思ふ に思える。
望月の まるで満月の欠けたところのな
欠けたることも いように、満ち足りた思いがする
なしと思へば のだから。

【小右記】

この歌には、藤原道長のどのような気持ちが込められているのかな。

→1 藤原道長(966～1027)【紫式部日記 絵詞 第五段】大阪府 藤田美術館蔵



↑2 道長の孫の生後50日を祝う様子 藤原道長の娘である彰子は、一条天皇の后となり、敦成親王(後の後一条天皇)を出産しました。道長は、彰子を含む四人の娘を、天皇の后にしました。【紫式部日記絵巻断簡】鎌倉時代 東京国立博物館蔵



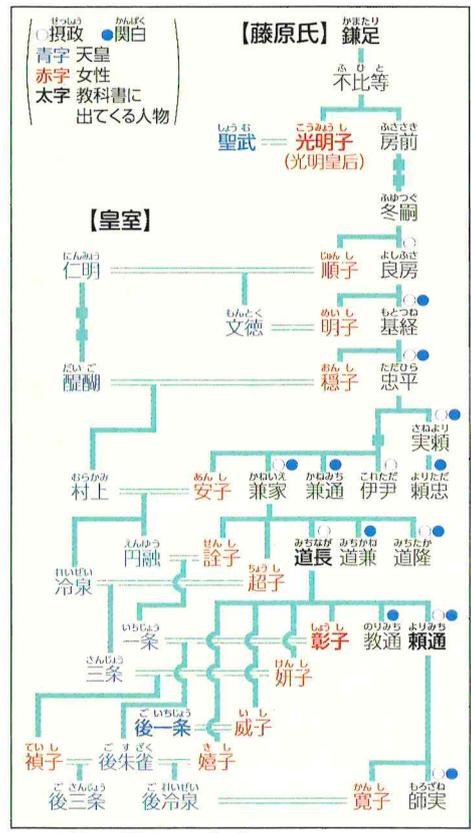
1 権力を握った貴族たち

学習課題 平安時代に行われた政治は、どのような特色があったのだろうか。

平安京と東北支配 平城京では寺院の勢力が強まり、やがて政治と結びつくようになりました。それを嫌った桓武天皇は、まず都を平城京から長岡京へ移し、さらに794年に平安京(現在の京都市)に移しました。この後の約400年間を、平安時代といいます。

桓武天皇は地方の政治を立て直すために、国司に対する監督を厳しくし、農村の実情に合わせて労役の日数を少なくしました。そして、都づくりとともに東北地方の支配にも力を入れました。東北地方北部には律令国家の支配が及ばない人々が住んでおり、朝廷は彼らを蝦夷とよんで差別しました。蝦夷は律令国家の支配に対し、激しい戦いを繰り返して抵抗しましたが、やがて坂上田村麻呂を征夷大將軍とする軍が蝦夷の主な拠点を攻め、東北地方への支配を広げました。しかしその後も、蝦夷の抵抗は東北各地で続きました。

摂関政治 平安時代になると、幼い天皇が即位しても政治の運営に問題がないほど、法律や習わしがしっかり整えられました。そのため朝廷では、形式ばかりが重んじられ、儀式や行事が盛んに行われるようにもなりました。こうしたなかで政治の実権を握ったのは、役人となった貴族でした。9世紀になると、藤原氏がほかの貴族を次々と退け、自分たちの一族で朝廷の官職を独

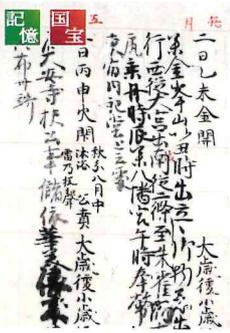


↑3 皇室と藤原氏の系図

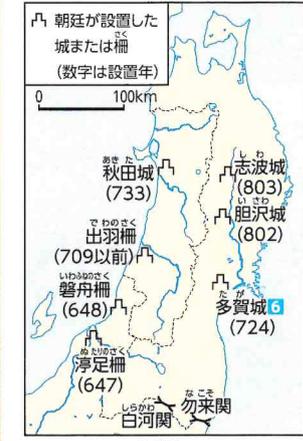
未来に向けて **自然へのおそれと陰陽道** **環境・エネルギー**

平安時代には、天文観察・暦・占いなどにより、自然の変化を詳しく観察して行いの吉凶を判断する、陰陽道という技術が発達しました。その技術をもつ陰陽師は天皇や貴族に対して、生活の指針を示し、建物のなかで慎んだり(物忌)、悪神がいる方角を避けたり(方違)することなどが行われました。自然には何か人間の及ばない力があるという考えは、近代まで長く続いていきました。

4 藤原道長が書いた日記 現存する直筆の日記としては最古のものです。当時の習慣が記された曆に、子孫に伝えるために行事の内容が細かく書かれています。〔御堂関白記 陽明文庫〕



地域史 **蝦夷と東北の支配**



5 東北の支配



6 多賀城政庁の復元模型 8世紀初めに設置された多賀城には、東北全体を支配するという役割がありました。また、この多賀城を拠点に蝦夷への出兵が行われました。〔東北歴史博物館提供〕

東北に住んでいた蝦夷は、狩りや農耕のほかに、馬や毛皮などの交易をしていました。朝廷は、城や柵を築いて戦いに備えつつ、関東地方などから兵士や農民を移して東北地方の開拓を進めました。これに対して、蝦夷は激しく抵抗しました。特に胆沢地域(岩手県奥州市)の指導者アテルイは、朝廷に抵抗を続け、しばしばその大軍を破りました。征夷大将軍の坂上田村麻呂により降伏したアテルイは、田村麻呂による助命の願いもかなわず河内国(大阪府)で処刑されました。

7 アテルイ〔茨城県 鹿島神宮蔵〕



解説 **征夷大将軍**

蝦夷を討つための官職です。後に源頼朝が任じられてからは、武家の頭を意味するようになりました(→p.70)。

占し、多くの荘園をもつようになりました。さらに藤原氏は、自分の娘を天皇の后とし、生まれた子どもを天皇にして、天皇が幼いときにはその政治を代行する摂政となり、成人後は後見役として天皇を補佐する関白となりました(摂関政治)。摂関政治は11世紀前半の藤原道長とその子頼通のころに最も栄えました。

国司は、朝廷の儀式や寺社の造営費を負担した功績によって任じられ、地方の政治を任せられるようになりました。国司のなかには、都にとどまって代理人を派遣したり、自分の収入を増やすことだけに努めたりして、不正を行う者も現れました。また、戸籍を偽ったり、逃亡したりする農民も増加し、班田收授の実施も困難になりました。こうして地方の治安は乱れていきました。

唐から宋へ

中国では、9世紀に起きた国内での反乱以後、唐が急速に衰えて滅亡し、10世紀後半に宋が中国を統一しました。唐の衰えにより、多くの危険を冒してまで公的な使者を派遣する必要はないとした菅原道真の提案により、894年、遣唐使の派遣が停止されました。また朝鮮半島でも同じころ高麗がおり、やがて新羅を滅ぼしました。

菅原道真 845~903

右大臣から 学問の神様に

学問に優れた菅原道真は、その能力を天皇にわれ、異例の出世により右大臣の地位を得ました。しかし、藤原氏に無実の罪を着せられ、突然大宰府へ追いやられてしまいました。彼の死後、天変地異が続いたため、たたりとおそれられ、天神信仰発祥の地である北野天満宮にまつられました。今でも学問や芸能の神様として信仰されています。

① 摂政と関白は、太政大臣や左大臣・右大臣(→p.40)よりも地位が高く、実際は政治の最高の地位にありました。

確認しよう 平安京に移り、朝廷の政治はどのように変化したか、本文から書き出そう。

説明しよう 藤原氏が政治の実権を握った要因を説明しよう。

20	調文
21	弥生
22	生
23	
24	
25	古墳
26	
27	飛鳥
28	奈良
29	
30	平
31	安
32	
33	鎌倉
34	南北朝
35	室町
36	戦国
37	安土
38	山
39	
40	江戸
41	
42	明治
43	大正
44	昭和
45	平成
46	令和



平安京で花開く 貴族文化



↓ **3** 平安京 桓武天皇(→p.54)が移した平安京では、東寺と西寺以外の寺院は都の外側に置かれました。[画：黒澤達矢氏 監修：山田邦和氏]



「邸宅の庭で何をしているのかな。」

← **2** 寝殿造 平安時代の貴族の住居です。寝殿を中心に、釣殿などが廊下でつながっています。[千葉県 国立歴史民俗博物館蔵] **小地公**

技能をみかく **9** えまきもの 絵巻物の見方

絵巻物は、絵の場面と文字の場面を交互に見ながら読み進めます。横に長い絵は空間の変化だけでなく、時間の流れを表すものもあります。また、上から眺めているような角度から描かれ、天井がなくなが見えるようになっているものもあります。絵巻物は当時の暮らしがたりや、建物の構造などを読み取ることができるため、大変貴重な資料です。

↓ **4** 清水寺本堂(京都市) 798年に坂上田村麻呂が建立したと伝えられています。ユネスコの世界文化遺産に登録されています。



← **5** 羅城門(復元) 平安京の正門です。朱雀大路の南端にありました。

[明日の京都 文化遺産プラットフォーム事務局提供]



↑1年中行事を行う貴族 寝殿造の邸宅では、中門の内側で、二羽の鶏を戦わせる鶏合という遊びが行われています。寝殿には見物の主人や客、女房たちが座っています。左右の小屋には雅楽の演奏をする人たちが控え、勝った側が舞楽を舞って主人たちを楽しませます。【『年中行事絵巻』個人蔵】資料活用 p.56左上の貴族の女性とp.4818の奈良時代の貴族の女性の衣服を比べてみよう。小地公

1	彌生
2	
3	
4	
5	古墳
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土・山
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
22	平成
23	令和

2 唐風から日本風へ変わる文化

4節の問い 中国の影響を受けた日本の政治と文化は、どのように変化していったのだろうか。



↑6『源氏物語絵巻』 細い線で表した目や「く」の字形の鼻、ふっくらとした輪郭は当時の特徴的な描き方でした。【『源氏物語絵巻』東屋一 絵 愛知県 徳川美術館蔵】小地公

安	あ	ア	ア
以	い	伊	イ
宇	う	宇	ウ
衣	い	江	エ
於	お	於	オ
毛	も	利	リ

↑7漢字からかな文字への変化
資料活用 ()に当てはまるかな文字を書き入れてみよう。小地公

学習課題 平安時代にはどのような特色をもった文化が展開したのだろうか。

東アジアの動きと 国風文化

9世紀になり、唐が衰えて東アジアの安定した体制が崩れると、周辺の国々は唐と正式な交流をもたなくなり、政治と文化において独自の動きをするようになりました。日本も遣唐使の派遣を取りやめましたが、商人や宋に渡った僧侶の活動により、引き続き書籍や陶磁器・薬品などの中国の文物がもたらされました。

摂関政治のころには、唐風の文化を基礎にしながら日本の貴族の生活や好みに合わせようとする工夫がなされ、独自の文化が生まれました。この時代の文化を国風文化といいます。自国への関心が高まったことを背景に、季節の移り変わりなど日本の風物を描いた日本独自の絵画(大和絵)が生まれ、貴族の住居として寝殿造が完成し、服装も唐風から日本風へ変化しました。また、儀式や行事が発展し、正月の参賀など季節ごとの年中行事が行われました。

かな文字と 新しい文学

平安時代には、漢字を書き崩して、より日本語の発音を表現しやすくしたかな文字が生まれました。特に ひらがな の登場により漢字だけでは表現できなかった日本固有の感情を豊かに表現できるようになりました。



さいしやう
最澄

767~822

くわい
空海

774~835

唐に渡った二人の若き僧侶

最澄と空海は桓武天皇のときの遣唐使と共に従って、中国(唐)に渡り、新しい考えの仏教を学んで帰国しました。桓武天皇は、僧が政治に口出しすることを嫌っていましたが、最澄や空海の力を借りて、仏教を立て直そうと考えました。最澄の天台宗では、家柄にかかわらず人間は誰でも仏になることができるとし、僧は人々の手本となり、人々のために尽くさねばならず、そのため一心に学問に励み、修行を積まねばならないと教えました。一方、空海の真言宗では、人間は生きたまま仏になれるとし、仏に集中して祈りをささげ、まじないを行うことによって、病気を治したり、災いを除いたりすることができると思われました。



重文

↑8 最澄(滋賀県 比叡山延暦寺蔵)

↑9 空海(和歌山県 高野山金剛峯寺蔵)



↑10 延暦寺での密教の祈とうの様子



↑11 主な寺院



↑12 満濃池(香川県) 空海は洪水で決壊した満濃池を修築するなど、社会事業にも尽力しました。

④ 師匠から弟子に「秘密の教え」として伝承されています。

このころの宮廷では、娘を天皇に近づけたい藤原氏が、教養をつけさせるため、紫式部や清少納言のような家庭教師を娘につけました。このことにより、宮廷には才能ある女性が集まり、世界初の長編小説である紫式部の『源氏物語』や清少納言の随筆『枕草子』など、感情を表現しやすいかな文字を使った、女性による文学が盛んになりました。ひらがなは、紀貫之らの編集による『古今和歌集』にも使われました。このような独自の文字を生み出す動きは、唐が衰えた後、日本だけでなく、周辺諸国でも起こりました。

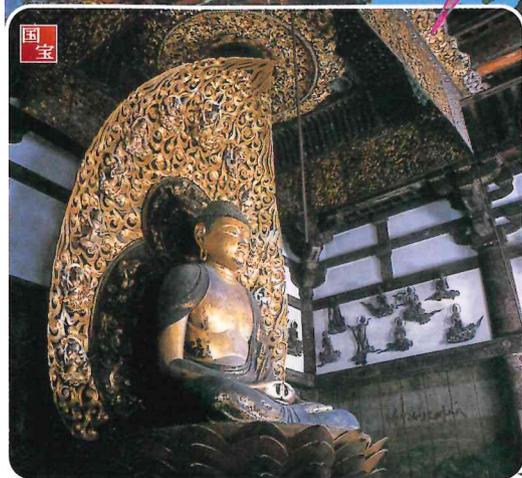
仏教の新しい動き

平安時代初め、遣唐使と共に唐に渡った二人の僧侶が新しい仏教をもたらししました。最澄は多くの経典を持ち帰り、天台宗を開いて比叡山に延暦寺を建てました。空海は中国で密教を学び、真言宗を開いて高野山に金剛峯寺を建てて教えを広めました。後に延暦寺にも伝わった密教は、平城京の大寺院や僧侶が政治との関わりを求めたことを批判し、山奥での修行や学問を重視しました。密教は、この世の病気や災いを取り除く祈とうやまじないを取り入れたため、天皇や貴族に信仰され、やがて仏

未来に向けて **ぎ おんまつり 祇園祭の始まり** 平和・安全

京都の祇園祭は、祇園社ともよばれる八坂神社(京都市東山区)の祭礼です。平安時代初期から続く祇園御霊会を起源とし、現在も京都の夏の風物詩となっています。朝廷が疫病の流行を受け869年に疫病の神や死者の怨霊をなだめるため御霊会を行ったことに始まります。疫神の牛頭天王をまつり、全国の国の数を表す66本の矛を立て、矛に悪霊を移すことで諸国のけがれをはらいました(→p.95)。

↑13 祇園祭 山鉾巡行(京都市)



↑16平等院鳳凰堂(京都市 宇治市) 関白藤原頼通の別荘を阿弥陀堂としました。池の中島に建てられていることで、極楽浄土にある宮殿を表現したとされています。屋根に一对の鳳凰が置かれ、鳥が翼を広げたように見えることから後に鳳凰堂とよばれました。[平等院提供]

↑14阿弥陀如来座像と→15雲中供養菩薩像 堂内の中央に安置された阿弥陀仏の周りには、雲に乗った52体の菩薩像があります。さまざまな楽器などを持ち、極楽浄土からの迎えを表現しています。



国宝

→17空也 若いころから修行者として諸国をまわり、道路・橋・寺院造営などの社会事業を行いました。「南無阿弥陀仏」の名号(仏の名)を唱えながら、京都市などで人々に念仏を広めたため、「市聖」などともよばれました(→p.52)。口から出た阿弥陀像は、名号の6文字を表しています。【『空也上人立像』京都市 六波羅蜜寺蔵】



重文

教の中心になりました。

末法の世と 浄土信仰

平安時代には、シャカの死から2000年がたつと、
p.24 仏教の力が衰える末法の時代が来るという思想が広

まりました。1052年からがその時代とされ、ちょうどそのころに

5 各地で反乱や自然災害が起こったため、阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が広まりました。栄華を誇った藤原氏もこの阿弥陀仏を信仰するようになり、藤原道長は阿弥陀仏の仏像と手を五色の糸で結んで念仏を唱えながら亡くなり、頼通は阿弥陀仏の住む極楽浄土をこの世に再現しようとして、平等院鳳凰堂をつくりました。浄土信仰は都の貴族だけでなく、僧侶の空也などにより地方の豪族や庶民にまで広がっていきました。

② 青・黄・赤・白・黒の五色の糸を、阿弥陀仏の手から自分の手にかけて渡すと、極楽浄土に導かれるとされていました。

☑ かな文字によって書かれた作品と作者を、本文から書き出そう。

🗨️ 国風文化は、天平文化と比べてどのような特色があるのか、大陸との関わりと仏教の展開から説明しよう。

SC	縄文
AD.1	弥生
2	
3	
4	
5	古墳
6	
7	飛鳥
8	奈良
9	
10	平安
11	
12	
13	鎌倉
14	南北朝
15	室町
16	戦国
17	安土・松山
18	江戸
19	明治
20	大正
21	昭和
	平成
	令和



2章の問い

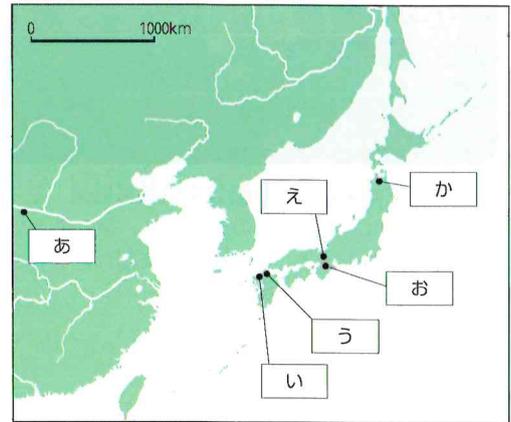
○ 国づくりが行われていった古代の社会には、どのような特色があったのだろうか。

学習事項の確認

知識

世紀	時代	主な出来事	文化	国際	朝鮮	中国
7000年前 1万年前	旧石器	人類の誕生 日本列島の形成				
前3	縄文	稲作が広まる	縄文土器	青銅器、鉄器	殷・周	秦
	弥生	小国の分立	弥生土器	金印	漢	
	1 2 3	邪馬台国の卑弥呼が 中国に使いを送る	埴輪	渡来人	三時代	
4 5	ヤマト王権の支配の拡大	前方後円墳	埴輪	高句麗・百濟・新羅	南北朝	
6	538 仏教の伝来(552年の説もある) 蘇我氏と聖徳太子の政治	法隆寺	遺隋使遺唐使	隋	時代	
7	飛鳥	603 冠位十二階の制定	飛鳥文化	遣隋使遣唐使	唐(都)	長安
		604 十七条の憲法の制定		律令制度		
		645 大化の改新				
		663 白村江の戦い 九州にC大宰府を設置				
8	奈良	672 壬申の乱			新羅	
		701 大宝律令の制定 律令政治の始まり				
		710 D平城京に都を移す	天平文化			
9	平安	743 墾田永年私財法の制定 聖武天皇による 国分寺・国分尼寺の建立			高麗	宋
		794 桓武天皇が F平安京に都を移す 東北への支配の拡大	国風文化			
10	平安	894 遣唐使の停止				
11		荘園の拡大				
		藤原氏による摂関政治				

- 1) 時代の特色を考えるにあたって、次の作業を行って、あなたの年表を完成させよう。
 - ① 政治や国際関係の変化で重要であると考えられる出来事に赤いマーカーを、生活や社会の様子について重要と考えた出来事には黄色いマーカーをつけよう。
 - ② 「章の問い」に対する考えをまとめるうえで、大切だと考える出来事を書き足したり、関係のある出来事どうしを矢印で結んだりしよう。
- 2) 地図中の「あ～か」の空欄に入るものを、年表内の下線A～Fから選ぼう。



節の振り返り

思考・判断・表現

それぞれの節の学習を振り返って、「節の問い」に対するあなたの考えをまとめよう。

節の問い

- 1節 p.16-25 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。
- 2節 p.28-33 日本列島ではどのようにクニができ、勢力を拡大したのだろうか。
- 3節 p.38-49 なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか。
- 4節 p.54-59 中国の影響を受けた日本の政治と文化は、どのように変化していったのだろうか。



章の振り返り

タイムトラベルを活用した振り返りから、「章の問い」に対するあなたの考えをまとめよう

思考・判断・表現

1 タイムトラベルを活用して振り返ろう。

タイムトラベル「①縄文時代」「②弥生時代」「③奈良時代」「④平安時代」を見比べて、大きく変化したことや、重要だと感じたことを見つけよう。また、なぜそう考えたのか、根拠も踏まえて説明しよう。

タイムトラベルを見比べる際は、キーワードを設定し、見方・考え方を働かせよう。



例えば「国づくり」をキーワードにすると、こんなことに気がつくね。

見方・考え方

見方・考え方 巻頭 8

例えば

推移

人々の役割の移り変わりに着目しよう

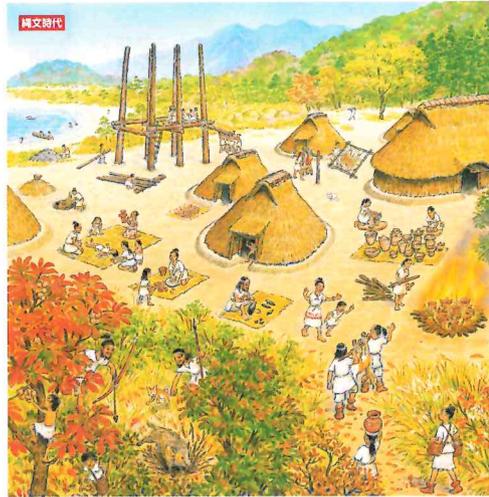
それぞれの時代で、「ムラ」や「国(クニ)」を成り立たせるために、どのような役割の人々がいるだろうか。

相互の関連

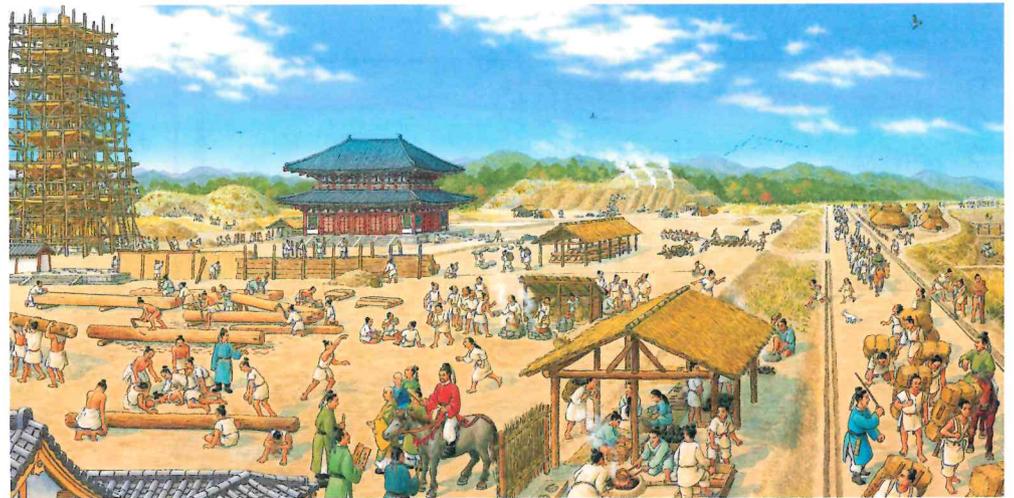
「国づくり」と宗教の関連性に着目しよう

「③奈良時代」の絵の中で、仏教の僧侶が登場するには、どのような社会背景があったのだろうか。

p.26~27 タイムトラベル①②縄文時代・弥生時代



p.36~37 タイムトラベル③奈良時代



p.52~53 タイムトラベル④平安時代



2 ほかの人と話し合って「章の問い」を考察しよう。 🗨️ 対話 🗨️

①で見つけたことや p.60 の年表にマークしたこと、古代の社会の特色を考えるにあたって重要だと感じたことについて、あなたの考えを整理しよう。例えば右のようなワークシートに書き出そう。

見つけたこと・重要なこと 例：奈良時代の役人が人々に指示をしている	特に重要だと考えたこと 例：律令国家ができたこと
その根拠（考えのもとになる箇所） 例：41 ページの 14～21 行目	理由 例：①きまりによって全国を支配するしくみをつくるため。（3節の問いを踏まえて）
グループでの話し合いで気づいたこと	「章の問い」に対する考え

グループになり、特に重要だと感じたこととその理由を発表し、意見交換をしよう。

発表にあたっては、「節の振り返り」を参考にして、そのこと背景や原因、結果や影響も踏まえよう。

グループでの話し合いで気づいたことを踏まえ、「章の問い」に対するあなたの考えをまとめよう。

3 時代の特色を考察しよう。 🧠 思考・判断・表現 🧠

①これまでの考察を踏まえて、古代はどのような時代だったかを、あなたの言葉でまとめよう。

古代の特色

○ 古代は、 [の] 時代である。

○ なぜなら、 [だ] からである。

②上でまとめたあなたの考えを、タイムトラベルを活用して、発表しよう。

● 「学習する時代の見通し」(→ p.15) に戻ってみよう 📖 主体的な学び 📖

章のはじめにあなたが立てた予想から、あなたの、この時代に対する考えはどのように深まっただろうか。章の学習を通じて感じたことや、さらに深めたいと思ったことを、下の「振り返り」に書いてみよう。

- ☑️ 章の重要語

- 節や章の問い、時代の特色をまとめる際に使用した用語に☑️をつけよう。
 - 朝貢 (p.21) 遣唐使 (p.41)
 - 縄文土器 (p.28) 天皇 (p.41)
 - 稲作 (p.29) 征夷大將軍 (p.55)
 - ヤマト王権 (p.32) 摂関政治 (p.55)
 - 摂政 (p.38) かな文字 (p.57)
 - 十七条の憲法 (p.39)
 - 大化の改新 (p.40)

- ↶ 振り返り

- 章の問い：学習を通して考えをまとめることが よくできた できた あまりできなかった
 - 時代の特色をまとめるうえで有効だった「見方・考え方」
時期や年代 推移 比較 相互の関連
 - 「学習する時代の見通し」から考えが深まったこと
 - 章の学習を通して感じたこと・さらに深めたいと思ったこと

「これからの社会を構想しよう」(→p.307) への準備

🗨️ 対話 🗨️

現在との つながりを考えよう

古代の学習から、現在の私たちの社会につながっていると感じるものはあるか、ほかの人と話し合ってみよう。その際、タイムトラベルや「世界とのつながりを考えよう」も改めて見返してみよう。

例えば、古代に大陸から伝わってきて、現在の私たちの生活にもあるものは何かあるかな。

